TAKIZUMI

保証書添付　保管用

LEDシーリングライト

取扱説明書

GYL10R0060202

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番　RTX10902

【安全上のご注意】 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止

◎この器具は水平天井専用です。

■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止

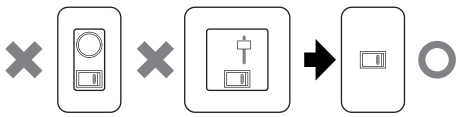
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です。）

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。

必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です。）

■その他

●交流100ボルトで使用してください。

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。

必ず守る

●アダプタは確実に取り付けてください。

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に
基づき自主点検してください。
（弊社ホームページより書式を
ダウンロードしてご使用ください。）
https://www.takizumi-denki.com/
publics/index/208/

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の
原因となることがあります。

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。

転倒・落下してケガをする
おそれがあります。

必ず守る

●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因に
なることがあります。
販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体や
その周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

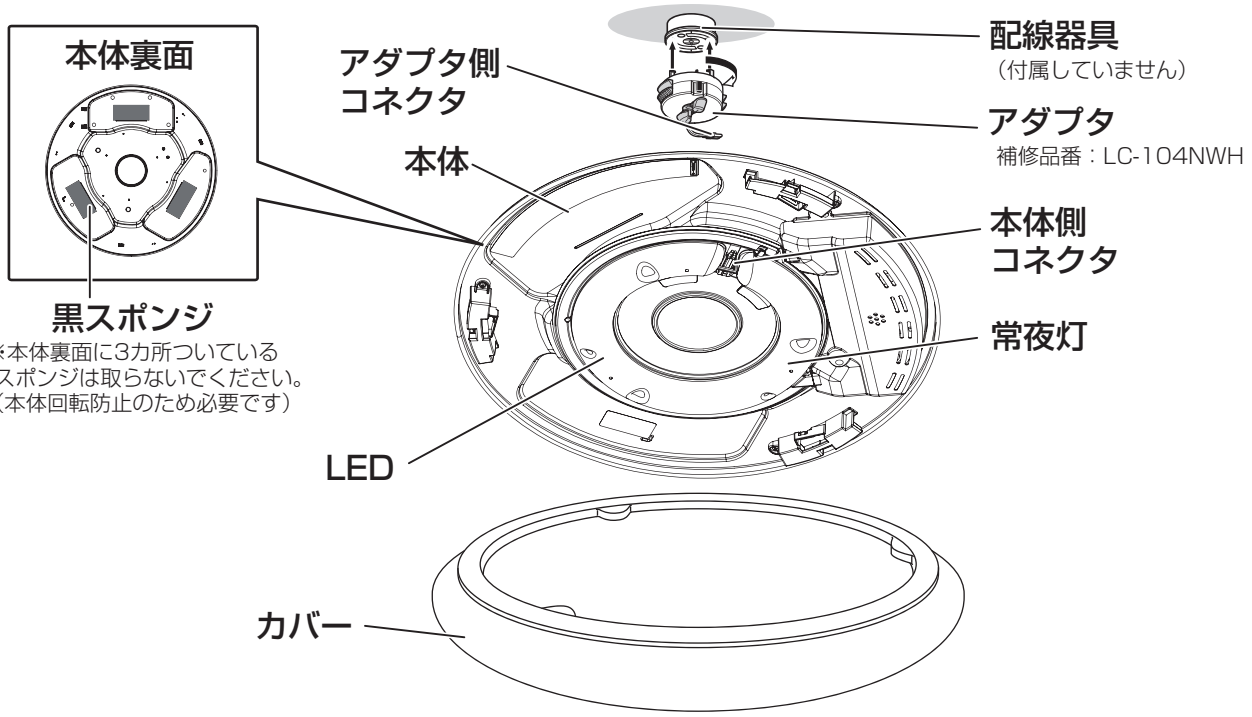
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください

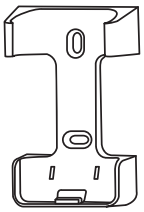


リモコン付属部品

リモコン
補修品番：TLR-006

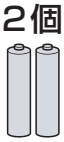
※リモコン前面の
保護シートは
取り外してから
ご使用ください。

リモコン
ホルダー



木ネジ
2個

単４形乾電池
2個



●リモコンに付属の電池は
動作確認用ですので、
電池寿命が短い場合があります。

照明器具を取り付ける

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

1 天井についている配線器具を確認する。

※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

右記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です。）

天井からの出しろが22mmの配線器具

角型引掛シーリング

丸型引掛シーリング

丸型フル引掛シーリング

フル引掛ローゼット

天井からの出しろが11mmの配線器具

引掛埋込ローゼット（ハンガー付）

引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

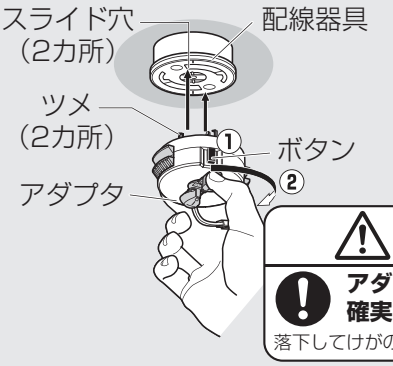
① 位置を合わせる。
アダプタのツメ（2カ所）を配線器具のスライド穴に入れる。

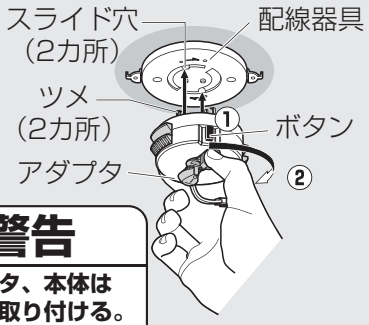
② **カチッ**と音がするまでアダプタを右に回して取り付ける。

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

⚠ 警告

アダプタは必ず付属のアダプタを使用してください。
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。





⚠ 警告

アダプタ、本体は確実に取り付ける。
落下してけがのおそれがあります。

3 本体を取り付ける。

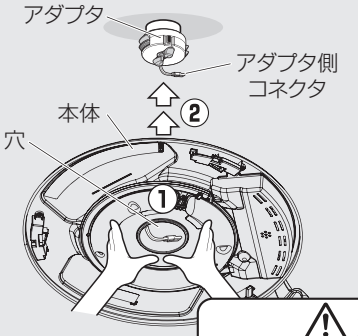
① 本体の穴にアダプタ側コネクタを通す。

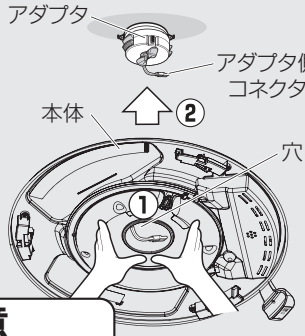
② アダプタに本体の穴を合わせて穴のまわりを押し上げる。

③ アダプタのツメ（白）が見えることを確認する。

④ アダプタのハンドルをロックする。

※配線器具により本体の取付位置が異なります。
下記を参考に押し上げてください。



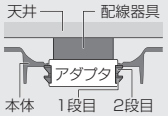


⚠ 注意

本体の穴のまわりを押しあげる。

カチッ カチッ と2度、音がするまで押し上げる。

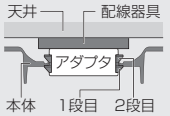
横から見た図



2段目まで押し上げる

カチッと1度、音がするまで押し上げる。

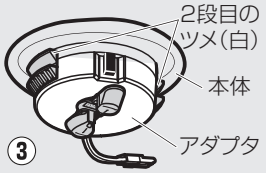
横から見た図



1段目まで押し上げる

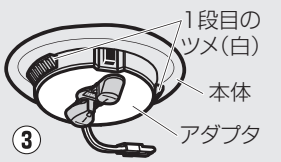
アダプタの本体取付位置

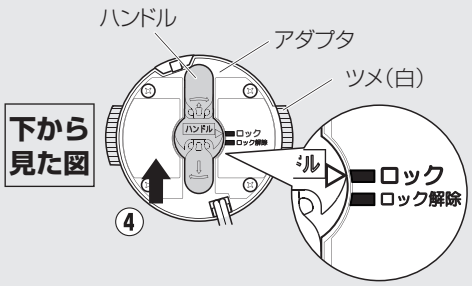
アダプタ2段目のツメ（白）が両方見える。



アダプタの本体取付位置

アダプタ1段目のツメ（白）が両方見える。

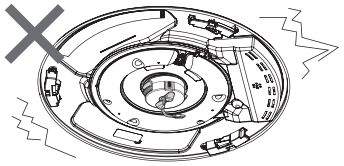


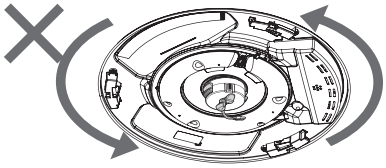


ハンドルをスライドさせて
▲印をロックの位置に合わせる。

4 本体が正しく取付けられているか確認する。

確認 右図の場合、正しく取付けされていないので手順 3 を再度行なってください。


本体がグラグラする

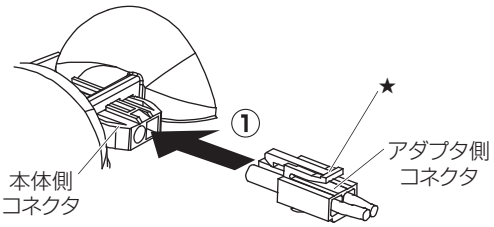

本体が簡単に回転する

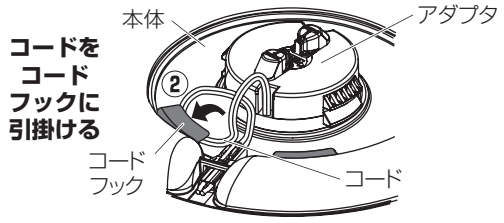
（次ページにつづく）

5 コネクタを接続する。

① アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。

② アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける。





確認 ★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

⚠ 警告

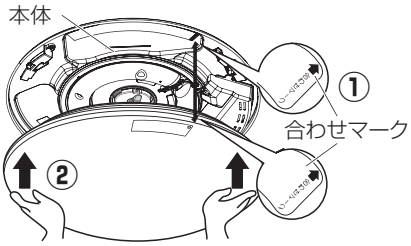
コネクタ接続後は、本体を無理に回転させないでください。 器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

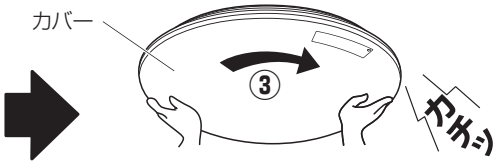
6 カバーを取付ける。

① 本体とカバーの合わせマークを合わせる。

② カバーを持ち上げる。

③ カチッと音がするまでカバーを右に回す。





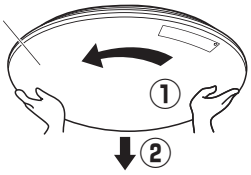
カバー取付時に本体が簡単に回転する場合は、本体が正しく取り付けされていません。手順 6 に戻って本体の取付を確認してください。

確認 カバーが確実に取付けされていることを確認してください。

取り外しかた

① カバーを左に回す。

② カバーを外す。



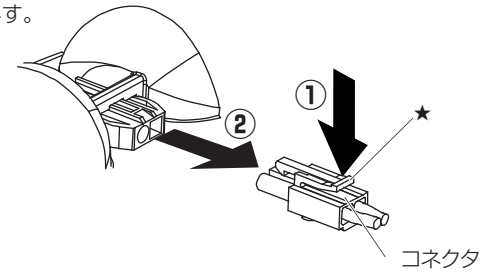
照明器具を取り外す

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

1 コネクタを外す。

① コネクタの★の部分を押さえながら

② 取り外す。



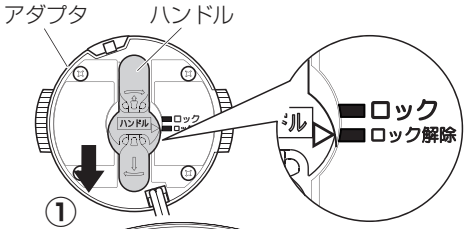
2 本体を取り外す。

① アダプタのロックを解除する。

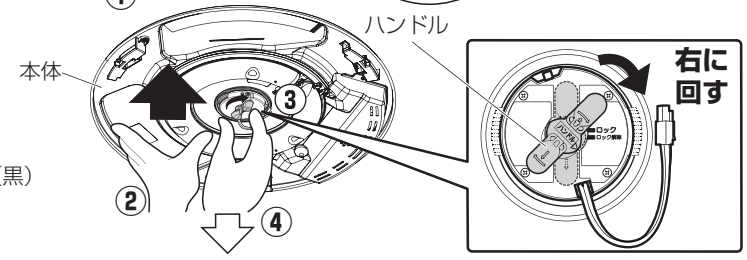
② 本体が落ちないようにしっかりと支えながら

③ ハンドルを右に回す。

④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



ハンドルをスライドさせて▲印をロック解除の位置に合わせる。



⚠ 警告

本体が落ちないようにしっかりと支える。
落下してけがのおそれがあります。

3 アダプタを外す。

① ボタン（黒）を押しながら

② 左に回して外す。

あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

「入」

記憶している前回の状態で点灯します。（初期設定：消灯）

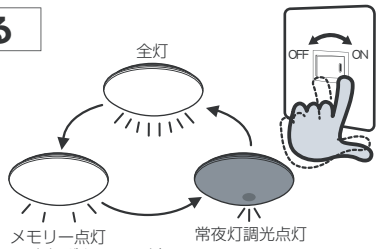
「切」

現在の状態を記憶して消灯します。

●ただし、リモコンで「明るさ」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリー点灯ボタンに記憶した「明るさ」で点灯します。
●消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約３秒以内に）ＯＦＦ⇔ＯＮと切り替えると次の順に点灯状態が切替ります。

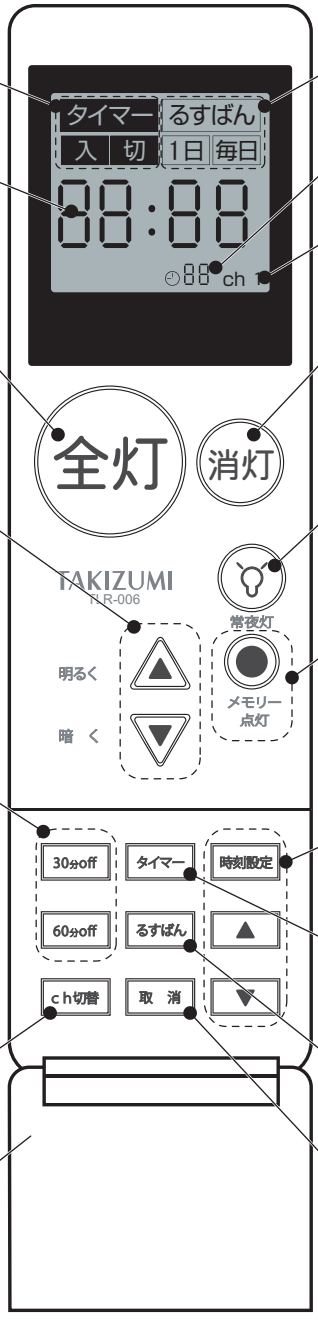


●初期設定はメモリー点灯ボタンに（明るさ：70%)の状態で記憶されています。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコンで照明器具を操作する　壁スイッチは「入」の状態にしてください。

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属品は１年保証です。（乾電池を除く）



タイマー表示
タイマー設定時に表示されます。

時刻表示
現在時刻や設定時刻が表示されます。

全灯ボタン
１００%の明るさで点灯します。
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
ボタンを長押し（3秒以上）で、操作する照明器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。
⇒（13ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

調光ボタン
明るさを調節します。
調光範囲：100%~約10%まで

offタイマーボタン
offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。
タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと’ピー’とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。
⇒（12ページのoffタイマー機能を使用するを参照）

チャンネル切替スイッチ
操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒（13ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

扉

るすばん表示
るすばん機能設定時に表示されます。

オフタイマー表示
オフタイマー設定時に表示されます。

チャンネル表示
設定しているチャンネルが表示されます。

消灯ボタン
消灯します。
●この器具は、リモコンで消灯している場合約１W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをＯＦＦにしておくことをおすすめします。

常夜灯ボタン
常夜灯を点灯します。

メモリー点灯ボタン
メモリー設定操作をした「明るさ」で点灯します。
ボタンを長押し（2秒以上）で点灯状態を記憶します。
⇒ 初期設定　（明るさ：70% ）
⇒（6ページのメモリー点灯ボタンの使いかた、記憶した明るさをワンタッチで点灯させるを参照）

時刻設定ボタン
現在の時刻、タイマーの時刻の設定する場合に使用します。
⇒（7ページの時計のあわせかたを参照）

タイマー設定ボタン
タイマーを設定する場合に使用します。
⇒（8ページ~のタイマー機能を使用するを参照）

るすばん設定ボタン
タイマーを設定する場合に使用します。
⇒（11ページのるすばん機能を使用するを参照）

取り消しボタン
タイマーとるすばん設定を取り消す場合に使用します。

※タイマーとるすばん設定のみの取り消しです。
30分/60分　オフタイマーの取り消しは出来ません。

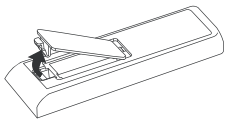
● 電池の消耗を防ぐため、約30分間操作がない場合は画面の表示を消灯します。再度操作を行う場合は、いずれかのボタンを押して、画面を表示させた状態から操作可能となります。
（画面の表示が消えている間も、タイマー機能、るすばん機能 および offタイマー機能は作動します。）

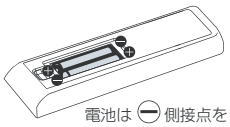
リモコンの基本操作

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

乾電池の入れかた

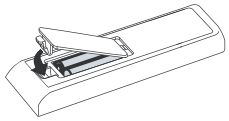
①裏側のカバーをはずす。　②電池の⊕⊖を正しく入れる。





電池は ⊖ 側接点をリモコンのバネに
正しく押し当てながら装填してください。

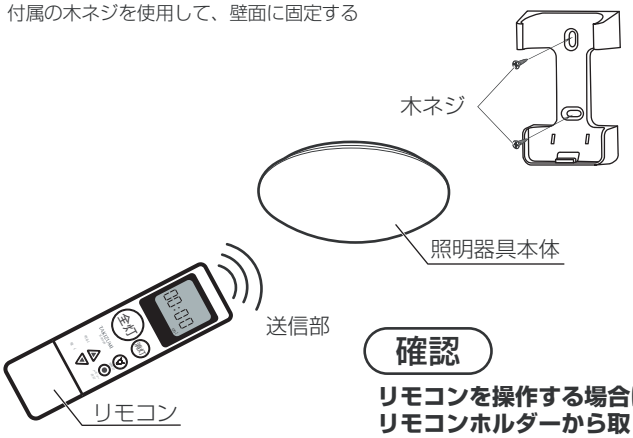
③カバーを取り付ける。



●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
●電池を入れるとき、電池に傷を付けたり、カバーを破らないようにしてください。
　発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
●交換時は、２本とも新しい同じ種類のもの（アルカリ電池）を使用してください。
●長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

リモコンホルダーの使いかた

付属の木ネジを使用して、壁面に固定する



確認

**リモコンを操作する場合は
リモコンホルダーから取り出し
照明器具本体に送信部を
向けて操作してください。**

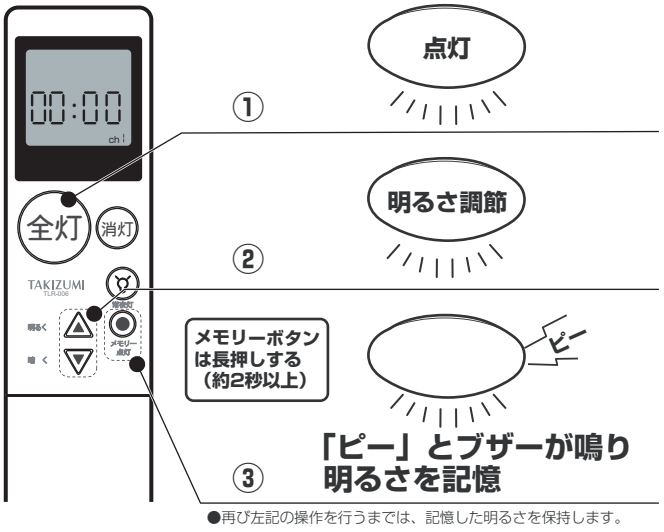
メモリー点灯ボタンの使いかた

ＬＥＤ点灯中に調光操作を行ない、メモリー点灯ボタンを長押しすることにより、
その明るさを記憶することができます。

① リモコンの「全灯ボタン」を 押してＬＥＤを点灯させる。

② リモコンの「調光ボタン」を押して
おこのみのＬＥＤの明るさに調節する。

③ リモコンの「メモリー点灯ボタン」を長押し（約2秒以上）
して明るさを記憶する。



●再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさを保持します。

記憶した明るさをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさをワンタッチで点灯することができ、
「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

リモコンの「メモリー点灯ボタン」
を押してLEDを点灯させる。

●初期設定は「 明るさ：70% 」状態で
記憶されています。

時計のあわせかた

●時計は環境により、1ヶ月に約3分程度ずれることがあります。時計のあわせかたの手順にそって現在時刻をあわせてください。

① リモコンの扉を開け、時刻表示が点滅するまで、

時刻設定 ボタンを長押しする。

（タイマー るすばん が表示されていない状態で
現在時刻を合わせてください。表示されている場合は、
取 消 ボタンで取り消しを行ってください。）

② ▲ ▼ ボタンで時間を設定します。

●時間は24時間表示です。
●ボタンを1回押すごとに1時間刻みですすみます。
●ボタンを長押しすると早くすすみます。

③ 時刻設定 ボタンを押して、時刻を決定し、
分の設定に移ります。

④ ▲ ▼ ボタンで分を設定します。

●ボタンを1回押すごとに1分刻みですすみます。
●ボタンを長押しすると早くすすみます。

⑤ 時刻設定 ボタンを押して、分を決定して
現在時刻の設定は完了です。

※途中で設定を中断したいときは、取 消 ボタンを押してください。

※約30秒間操作がない場合は、元の時刻に戻ります。

タイマー機能を使用する

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

タイマー機能とは

タイマー機能を設定時、「点灯」「消灯」「点灯と消灯」を設定した時間に行うことができます。
朝起きる時刻に点灯させる、就寝の時間に消灯させる、在宅を装いたいときなどに利用できます。
点灯時はメモリー点灯ボタンに設定されている点灯状態で点灯します。

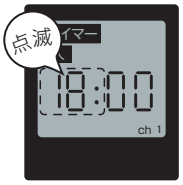
タイマーの時刻設定

タイマー「入」の時刻設定

① リモコンの扉を開け、 タイマー ボタンを1回押して
タイマー 入 を表示させる

② 時刻表示が点滅するまで、 時刻設定 ボタンを長押しする。

③ ▲ ▼ ボタンで時間を設定します。



- ●時間は24時間表示です。
- ●ボタンを1回押すごとに1時間刻みですすみます。
- ●ボタンを長押しすると早くすすみます。

④ 時刻設定 ボタンを押して、時刻を決定し、
分の設定に移ります。

⑤ ▲ ▼ ボタンで分を設定します。

- ●ボタンを1回押すごとに1分刻みですすみます。
- ●ボタンを長押しすると早くすすみます。

⑥ 時刻設定 ボタンを押して、分を決定して
タイマー入の設定は完了し、現在時刻に戻ります。

- ● 途中で設定を中断したいときは、 取 消 ボタンを押してください。
- ● 約30秒間操作がない場合は、現在時刻に戻ります。

タイマー「切」の時刻設定

① タイマー ボタンを2回押して タイマー 切 を表示させる

② 以降は、「入」の設定と同じ手順で設定を行う。

●タイマーの設定時刻を変更したい場合は、上記の動作を再度行い、上書きをしてください。

タイマー設定した時刻の確認

設定した時刻の確認方法

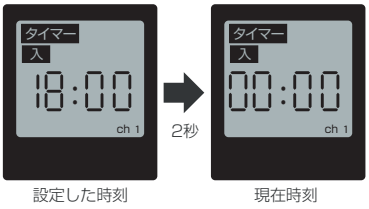
＜「入」タイマーの設定時刻の確認 ＞

① リモコンの扉を開け、 タイマー ボタンを1回押して

タイマー 入 を表示させる

② 時刻設定 ボタンを短押しする。

2秒間 「入」タイマーに設定された時刻を表示して
現在時刻に戻ります。



設定した時刻　　現在時刻

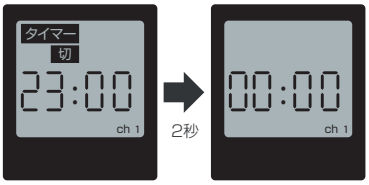
＜「切」タイマーの設定時刻の確認 ＞

① リモコンの扉を開け、 タイマー ボタンを2回押して

タイマー 切 を表示させる

② 時刻設定 ボタンを短押しする。

2秒間 「切」タイマーに設定された時刻を表示して
現在時刻に戻ります。



設定した時刻　　現在時刻

＜「入」「切」タイマーの設定時刻を同時に確認する＞

① リモコンの扉を開け、 タイマー ボタンを3回押して

タイマー 入 切 を表示させる

② 時刻設定 ボタンを短押しする。

「入」 「切」の順に2秒ずつ タイマーに設定された時刻を

表示して現在時刻に戻ります。

「入」に設定した時刻　「切」に設定した時刻　現在時刻

タイマー機能を使用する

タイマーで点灯・消灯を行う

＜「入」タイマーのみ使用する＞

① リモコンの扉を開け、 タイマー ボタンを1回押して

タイマー 入 を表示させる

② リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く。

※あらかじめリモコンの設置する場所から器具が作動するか確認を行ってください。

点灯時はメモリー点灯ボタンに設定されている点灯状態で点灯します。

＜「切」タイマーのみ使用する ＞

① リモコンの扉を開け、 タイマー ボタンを2回押して

タイマー 切 を表示させる

② リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く。

※あらかじめリモコンの設置する場所から器具が作動するか確認を行ってください。

＜「入」「切」タイマーを使用する＞

① リモコンの扉を開け、 タイマー ボタンを3回押して

タイマー 入 切 を表示させる

② リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く。

※あらかじめリモコンの設置する場所から器具が作動するか確認を行ってください。

＜タイマーの解除 ＞

タイマーを解除したい場合は 取 消 ボタンを押してください。

表示が消え、タイマー設定が解除されます。

※「タイマー」と「るすばん」は同時に使用できません。

るすばん機能を使用する

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

るすばん機能とは

るすばん機能を設定時、1日または毎日　あらかじめ記憶されている時間に 自動点灯、自動消灯を1時間ごとに繰り返し、消灯をして終了します。
長期不在など、在宅を装いたいときなどに利用できます。

17：30 点灯 ― 00：00 消灯
18：00 点灯 ― 23：00 消灯
18：30 点灯 ― 23：30 消灯 のいずれかで記憶されており、選択は出来ません。
（ 任意の時刻に点灯・消灯を行いたい場合はタイマー機能をご使用ください。（ P.8～））

点灯時はメモリー点灯ボタンに設定されている点灯状態で点灯します。

※18：30を過ぎて設定された場合は次の日の17：30～18：30の間にしか作動しません。

るすばんを使用する

＜るすばんを1日 実行する ＞

① リモコンの扉を開け、 るすばん ボタンを1回押して
るすばん 1日 を表示させる

② リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く。
※あらかじめリモコンの設置する場所から器具が作動するか確認を行ってください。

＜るすばんを毎日 実行する ＞

① リモコンの扉を開け、 るすばん ボタンを2回押して
るすばん 毎日 を表示させる

② リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く。
※あらかじめリモコンの設置する場所から器具が作動するか確認を行ってください。

＜るすばんの解除 ＞

るすばんを解除したい場合は 取 消 ボタンを押してください。

表示が消え、るすばん設定が解除されます。

※「るすばん」と「タイマー」は同時に使用できません。

offタイマー機能を使用する

offタイマー機能とは

offタイマーをセットすると、30分または60分後に自動消灯を行います。

●リモコンの扉を開け、 30分off ボタンを1回押すと

◴30 が点滅表示され、30分後に自動消灯します。

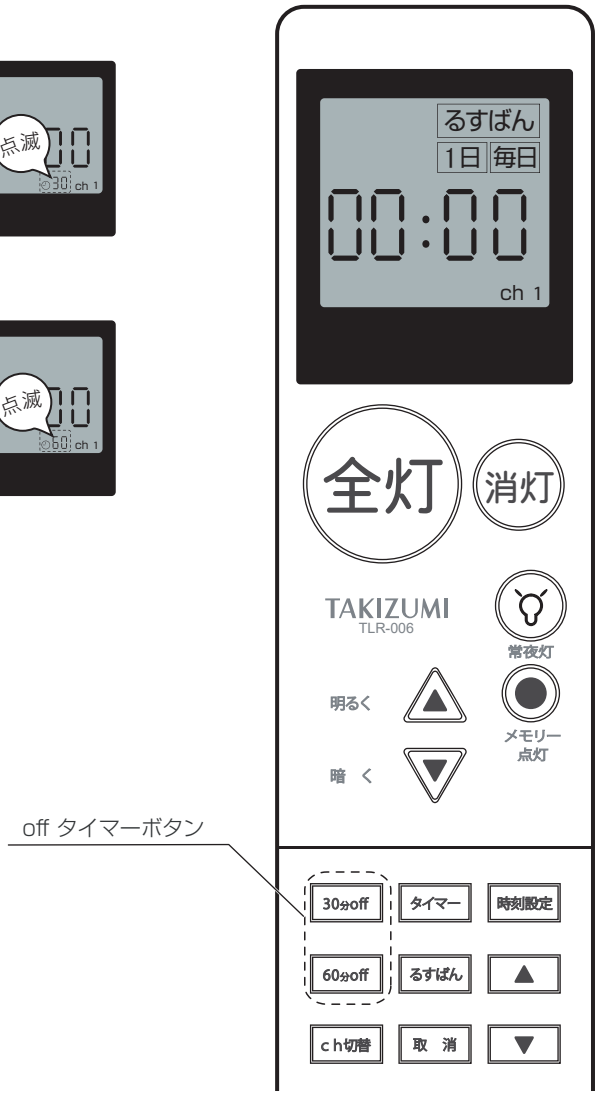
60分を設定する場合は 60分off ボタンを1回押してください。

◴60 が点滅表示され、60分後に自動消灯します。

● offタイマー設定後、リモコンの扉内以外の操作ボタンを押すと
”ピー”と器具本体のブザー音が鳴って、タイマー表示が消え、解除されます。
再度設定が必要な場合は、改めてボタンを押して設定を行ってください。
（扉内の 取 消 ボタンでは解除できません）

●offタイマー設定後、再度 off タイマーボタンを押すとボタンを押した時点からの延長となります。

※「タイマー」または「るすばん」と「off タイマー」を同時に使用する場合は、消灯時間の設定が早いほうが優先されます。



チャンネル切替の方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。

ch1をch2にする方法

① チャンネル設定を行いたい器具（1台）のみの壁スイッチを「入」にする

② リモコンの液晶画面に ch 1 が表示されていることを確認する。

（ch2 になっている場合は ④ の操作を行い、リモコンのチャンネルを ch1 にしてください。）

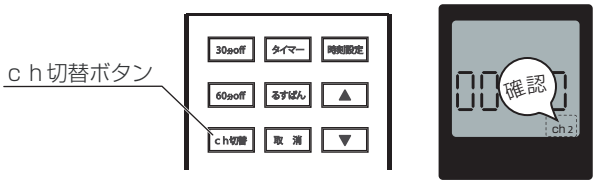
③ 照明器具本体にリモコンを向けながら 全灯 ボタンを3秒以上長押しする。

「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。

※このとき照明器具本体は全灯状態となります。

④ リモコンの扉を開け、ch切替 ボタンを一度押して、液晶画面に ch 2が表示されていることを確認する。

（照明器具本体のチャンネルが ch2 に切り替わっている為、リモコンのこの操作でリモコンのチャンネルを合わせないと操作することが出来ません。）



ch2をch1にする場合は、上記 ② ④ の表示が 反対 になるように操作してください。

チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外も反応して、同時に設定されてしまう場合は
壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法は
その商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

2台までのリモコン照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます

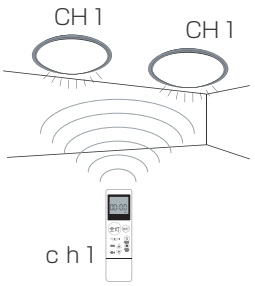
チャンネル設定でできること

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

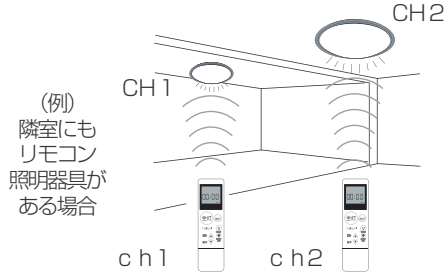
●複数の器具を同時に点灯できます。

（例）部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



●近くの器具を別々に点灯できます。

（例）隣室にもリモコン照明器具がある場合



故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因		参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがＯＦＦになっている。	➡ 壁スイッチをＯＮにしてください。	**⇒5ページ**
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	➡ 器具のコネクタを確実に接続してください。	**⇒4ページ**
リモコンで操作できない。	電池が正しく入っていない。	➡ 電池を正しく入れてください。	**⇒6ページ**
	電池が消耗している。	➡ 電池を交換してください。	**⇒6ページ**
	リモコンと 器具のチャンネルが合っていない。	➡ リモコンと器具のチャンネルを 合わせてください。	**⇒13ページ**
	リモコンの表示画面が消えている	➡ 電池の消耗を防ぐため、約30分間操作がない場合は画面の表示を消灯します。再度操作を行う場合は、いずれかのボタンを押して、画面を表示させた状態から操作可能となります。	**⇒5ページ**
リモコンの表示画面が薄い	電池が消耗している。	➡ 電池を交換してください。	**⇒6ページ**
タイマー・るすばんが 作動しない	壁スイッチが「切」の状態になっている。	➡ 壁スイッチを「入」の状態にしてください。	**⇒5ページ**
	リモコンを作動する範囲に置いていない。	➡ リモコンを照明器具が作動する範囲に 設置してください。	**⇒10・11ページ**
タイマーが作動しない	タイマーの「入」「切」時刻が同じになっている。	➡ 設定時刻を確認してください。	**⇒8ページ～**
勝手に点灯、消灯する。	ｏｆｆタイマー３０分／６０分がセットされている。	➡ ｏｆｆタイマー３０分／６０分を解除してください。	**⇒5ページ**
	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき点灯状態が切り替わった可能性がある。	➡ 壁スイッチをOFFにしてください。 リモコンまたは壁スイッチ操作してください。	**⇒5ページ** **⇒5ページ**
	タイマー機能またはるすばん機能が作動している。	➡ タイマーを解除してください。 るすばんを解除してください。	**⇒10ページ** **⇒11ページ**

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

●点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
●壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
●照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

お手入れについて

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に下記の手順で清掃してください。

本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。**（水洗いはできません。）**

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。**（水洗いはできません。）**

●使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

●リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周 波 数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：36.2W　常夜灯：1.3W　待機時：1W以下	0.36A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タキズミ照明器具保証書

※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. 二次販売・ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から**5年間**です。(本体、LED器具の点灯装置)　但し、カバー、付属部品は **1年間**　です。
お買上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
(6)一般家庭用以外(例えば業務用等や車両、船舶等に搭載)に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
(※カバーなどの電気部品以外の部品は含まない)
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	**RTX10902**	**保証期間** **(お買い上げ日から)** ※2015年7月1日以降お買い上げの商品が対象になります。	**本体、LED器具の点灯装置　：5年間** **カバー、付属部品など　：1年間**	**お買い上げ日**	**年　月　日**
お客様	**お名前** **ご住所　〒　　ー** **電話番号　(　　)　　ー**		**販売店名・住所・電話番号**		

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

Sample
【見本】

MEMO

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

「お客様相談室」フリーダイヤル 0120-226-544
受付時間/月～金（土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く） 9:00～17:00
http://www.takizumi-denki.com/